

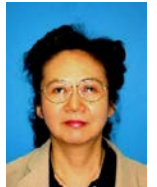
園田学園女子大学・園田学園女子大学短期大学部図書館報

RENDEZVOUS

(ランデブー)

『本を緩やかに楽しむ』

学 長 川 島 明 子



帰りの電車の中、20時過ぎていた。本から目を離し、電車の中を見渡すと、男女30名程度の人が静かに座っていたが、スマートフォンに目を向けている人が半数、本を手にした人はちらほら状態。「本離れ」「読書離れ」との言葉をよく耳にするが、これは現実であるようだ。

文化庁が発表した平成25年度「国語に関する世論調査の結果」によると、1か月に大体何冊くらい本を読んでいるかを尋ねた設問では、「読まない」の割合が5割程度で最も高い。さらに読書量の増減を尋ねた設問では、「読書量は以前に比べ減っている」と、6割強が回答している。その理由は「仕事や勉強が忙しくて読む時間がない」の割合が最も高い。次いで「視力などの健康上の理由」、「情報機器（携帯電話、スマートフォン、タブレット端末、パソコン、ゲーム機等）で時間が取られる」、「テレビの方が魅力的である」となっている。過去の調査結果（平成20年度）と比較すると、「情報機器で時間が取られる」の割合が特に高い。価値観が多様化している昨今、情報通信社会(IT社会)となり情報量が急速に増大し、その収集方法も多様化している現実が垣間見えてくる。

一方、電子書籍を読む人の半数以上が「紙の本

の方を多く読む」と回答している。確かに電子書籍は教育上、読み書き障害に対するデジタル教材としての利用も期待されているが、普及には課題が多いようだ。

デジタル環境で育っていないものにとって、紙の本には中身はもちろん、ページをめくる際の紙の触感、挿絵、解説、装丁等まだまだ電子書籍には代えがたい楽しみがある。学会誌などの定期刊行の専門誌は、専門情報のトピックス収集を目的に速読することが多いが、何より、緩やかに本を読むと、そのあるべき場所におかれた言葉と、表現の力強さが心に働きかけ、潜んでいる記憶と感情を揺り動かされる感動に、稀にはあるが遭遇する醍醐味がある。また、人が人生で経験できる世界はわずかに過ぎないが、本を読むことによりいつでもどこでも、広く未知なる世界を活字を通して知ることができる喜びも捨てがたい。

最近では、積読の楽しみの増加や視力などの点で、活字の少ない詩集を手にする機会も増えている。様々のリスクを含んだIT社会で、その便利さを享受しながらも、可能な限り、本を緩やかに楽しむ心の豊かさを持ち続けたいものである。

News & Topics

「利用しやすい図書館をめざして」

－図書資料を見やすく、探しやすく、使いやすく－

本図書館（1965年創設）は、学生数2,000名ほどに対し、蔵書数約29万冊、逐次刊行物約1,200タイトル、視聴覚資料約15,000点、電子ジャーナル(フルテキスト)約2,000タイトルの図書資料を提供している。

文学部として開学された経緯から、近松門左衛門の浄瑠璃や万葉集およびその周辺に関する写本・版本を蔵する吉永文庫、「ヴィクトリア朝英国詩集」のコレクション、作家の個人全集など、文学関係の資料が充実しているが、現在は、学部新設による新たな蔵書群の充実を進めながら、図書資料の有効な活用促進に重点を置いている。

学習支援面では、学年進行に対応した「図書館利用ガイダンス」や「相互利用」等のレファレンスサービスに加え、図書館情報ポータルサイト「My Library」によりサービスの拡充に努めている。とくに重要視していることは、学習に必要な図書がほしいときにすぐに手に入る環境づくりである。現在、実習支援室などを対象とした「別置図書制度」により、実習、国家試験、資格試験、採用試験等に役立つ図書の配置をおこなっている。また、図書資料への興味・関心が高まるよう、書店にて直接図書を選ぶ「選書ツアー」等のイベントも開催している。地域貢献面では、尼崎市、伊丹市、西宮市在住の市民を対象とした地域開放。施設設備面では、定期的な図書整理・蔵書点検による固定資産の把握をおこない、不明図書の補充、重複資料の除却等、収納スペースの確保と図書資料探索の迅速化に努めている。

2013年度

- ・全館書庫整理・移動（3年計画3年目）：4階を中心に実施
- ・図書資料展示ブース（特設コーナー）：3階フロアに常設し、定期的に内容を変更
- ・NDC（日本十進分類法）9版による分類番号の見直し

2014年度

- ・全館書庫整理・移動：5階を中心に、前年度までにできなかった分を実施
- ・特設コーナーの定期的開催：3階フロアに常設し、定期的に内容を変更
- ・NDC（日本十進分類法）9版による分類番号の見直し
- ・3階の情報収集用・蔵書検索性用パソコンコーナーおよびカウンターの一部をリニューアル



情報収集用・蔵書検索性用
パソコンコーナー(2014.9)

2015年度（予定）

- ・図書館・近松研究所探検ラリーの開催
- ・ミニ展示
- ・ポップ教室
- ・ワンポイントガイド（ミニ図書館ガイド）
- ・館内お知らせ板、フロアマップの一部を見やすくリニューアル
- ・図書館管理システムのバージョンアップ



大学生活スタート
応援コーナー
(2015.4)



図書館・近松研究所
探検ラリー(2015.6)

『My Library (学生・教職員専用ページ)』を活用しよう！—予約の申込・確認編—

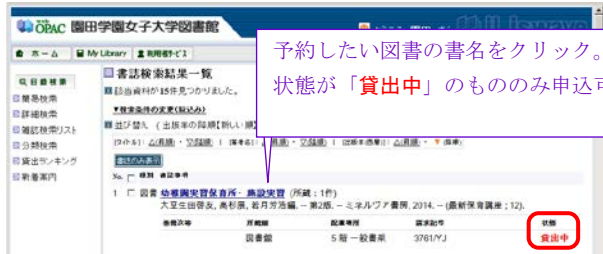
【利用状況の確認でできること】

- ・借出中の図書のタイトルや返却期限の確認
- ・貸出履歴の確認
- ・利用者情報の修正(メールアドレス、電話番号)
- ・**予約・複写依頼・貸借依頼・購入依頼の状況確認**

←「予約」をPick UP!

【予約の申込方法】

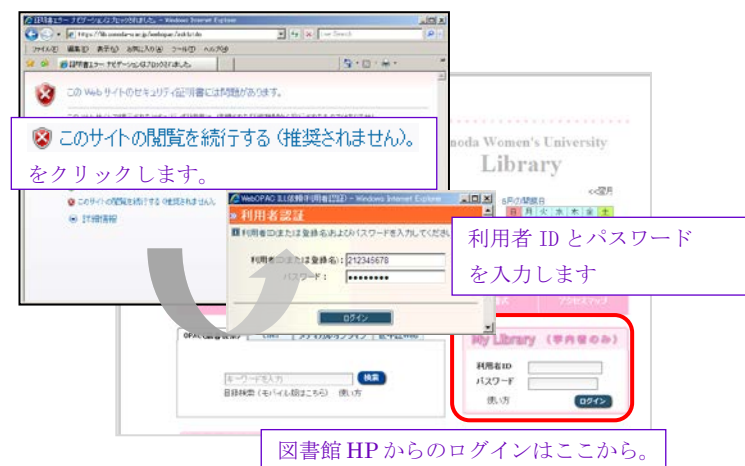
①OPACで借りたい図書を検索し、予約したい図書の書名をクリックします。



②「予約」ボタンをクリック

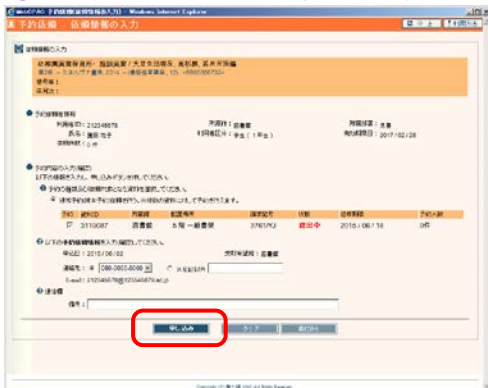


③MyLibraryにログイン



図書館 HP からのログインはここから。

④予約確認画面が開くので、内容を確認して申込みを確定



⑤予約した本が貸出可能になればメールで連絡が届きます。

【予約状況の確認方法】

①My Libraryにログインし、「利用状況の確認」の「予約」エリアに「予約棚」と表示されているものがあれば、貸出可能な資料があることを示しています。



②「予約 〇件」の表示をクリックすると詳細画面が開きます。



- 「状態」に以下の表示がある時
- ①「予約棚」予約図書が貸出可能になっています。カウンターまで借りに来てください。
 - ②「貸出済」すでにあなたが貸出済です。
 - ③「予約中」他の利用者の返却待ちです。

使い終わったら必ず「ログアウト」してください。

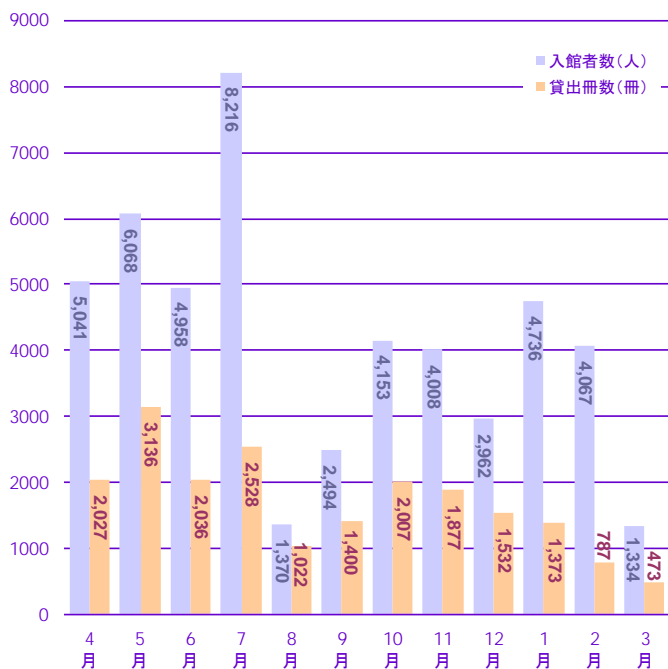
？借りたい図書が図書館にない場合は？

購入希望を申し込んでください。
今年度から購入希望の申込み冊数の上限が、
ひとり年間20冊に増えました！
この機会に、ぜひお申込みください。

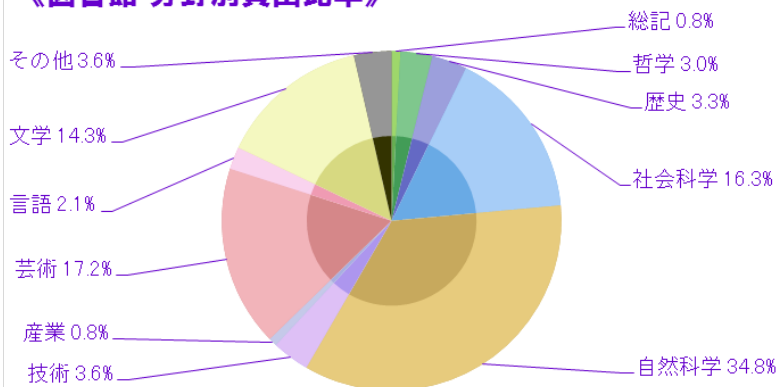
学生・教職員は、My Libraryの「新規購入依頼」から！
それ以外の利用者は、申込用紙にご記入のうえ、カウンターにご提出ください。

Library Data (2014年度 利用統計)

《図書館 月別入館者数/貸出冊数》



《図書館 分野別貸出比率》



《貸出状況》 近松研究所含む () 内 2013年度

利用者区分	貸出冊数	利用者数
学 生	11,599 冊 (14,042)	5,351 人 (6,493)
教 職 員	2,559 冊 (2,529)	984 人 (921)
そ の 他	6,114 冊 (5,333)	2,756 人 (2,382)
合 計	20,272 冊 (21,904)	9,091 人 (9,796)

《受入状況》 近松研究所含む () 内 2013年度

資料区分	受 入 数	累 計
図 書	和 書 3,325 冊 (2,968)	249,913 冊 (247,416)
	洋 書 12 冊 (10)	41,135 冊 (41,146)
	合 計	3,337 冊 (2,978)
逐次刊行物	299 タイトル (318)	1,208 タイトル (1,193)
視聴覚資料	230 点 (765)	15,123 点 (14,950)

《相互協力利用状況》 () 内 2013年度

利用区分	受 付	依 頼
文献複写	341 件 (340)	489 件 (597)
図書貸借	25 件 (18)	1 件 (8)
閲 覧	4 件 (10)	14 件 (1)
合 計	370 件 (368)	504 件 (606)

《AVブースコーナー 視聴数》 3,069 件

《レファレンス (文献所在調査・利用指導など)》 309 件

編集後記

今年、ラーニングコモンズの一環として図書館・近松研究所探検ラリーやポップ教室、ワンポイントガイドなど、利用者の方が図書館を楽しみながら使っていただけるように、これまでにはなかった活動も進めてまいります。

また、図書館管理システムは9月にバージョンアップを予定。蔵書検索やイベント案内など機能・デザインも一新し、より便利に見やすく変わります。ご期待ください。(古谷・小林)

RENDEZVOUS 園田学園女子大学・園田学園女子大学短期大学部図書館報 No.42

[発行日] 平成 27 年 6 月 30 日 発行所 園田学園女子大学・園田学園女子大学短期大学部図書館
〒661-8520 尼崎市南塚口町 7 丁目 29-1 Tel : 06-6429-9931 Fax : 06-6429-2822
http://www.sonoda-u.ac.jp/tosyo/ E-mail: lib@sonoda-u.ac.jp

誌名「RENDEZVOUS」の由来

1998年3月発行の25号から「図書館ニュース」を誌名変更。一谷宣宏理事長の命名によるもので、「図書館は、様々な知との出逢いの場であり、本学を離れて後もその知が必要となきには出逢いを求めて来ることができる」との意味を持っている。